



ザンバーン通信

女子学生 インタビュー

理工系という男子が多いイメージかと思いますが、キラリと輝く女子学生も沢山います！理工系大学に進学した理由や室蘭工業大学で学んでいることなどについてインタビューした内容をご紹介します。「理工系って面白そう!」、「私もやってみたい」と感じる中高生が一人でも増えることを期待しています。

誰もが安心して飲める薬を

中学生の頃から、将来医薬品の開発に携わりたいと考えていました。きっかけは、私の母が副作用を気にして、あまり薬を飲みたがらなかったことです。それを見て「副作用の少ない、お母さんが安心して飲める薬を開発したい。」と思うようになりました。薬と言えば薬剤師と思う人も多いかもしれませんが、調剤ではなく新しい薬をつくるほうに興味があったのと、高校時代から化学が好きで大学では有機化学をやりたいこともあり、大学は薬学部ではなく工学部を選びました。

あとは、小学校6年生のときに、祖母が病気で入院したことも大きいです。そのときに医療関係者の働く姿をみたのも、今につながっています。

おもしろそうな研究室をめがけて 室工大へ

高校の担任の先生が勧めてくれました。将来創薬の道に進みたいと考えていた私は、そのときから、現在所属している有機合成化学が専門の中野博人先生の研究室ホームページを見ていました。他にも、アルツハイマーの研究をしている先生など、面白い先生がたくさんいるのだなと思いました。

また、出身が富山なのですが、一度、富山から出たい！と思っていたのもありました。いくつか選択肢があったのですが、「出るなら思いっきり出よう！」と思って、北海道に飛び込みました。

安価で環境にやさしい触媒の研究

「不斉有機分子触媒」について研究を

しています。有機化合物を用いた触媒で、従来の触媒よりも安価で環境にやさしいのが特徴です。私は今、抗がん剤などをつくる過程の中間部分をより効率的にする研究を行っていて、これまでに学会にも何度か出させてもらっています。私の研究室では、4年生で研究室に配属されたときに、先生からテーマを渡されます。はじめは先生から教えてもらうことが多かったのですが、修士課程1年生になる頃には、自分たちで実験方法を考えたり、研究室のメンバーと一緒に議論しながら進められるようになりました。今はまだ満足のいく結果は出ていませんが、研究するならとことんやりたいと思っています。

女子学生同士のつながり/ 男女関係なく楽しめる場所

大学生協の学生団体が主催していた「Girls' Tea Party」というイベントがあって、私はそこで出会った友達とずっと仲良くしてきました。ボランティアサークルにも入っていて、そこでも女子学生同士の知り合いが出来ました。男子の友達もいますし、男女関係なく楽しめる場所だと思います。

工業大学は無機質なイメージもあると思いますが、最近大学構内にできた室工大カフェは、SNS映えするようなおしゃれなところで、ホットサンドがおいしいです。

女子中学生・高校生へのメッセージ

大学1年生の講義内容は、高校の復習からはじまるので、高校理科の中で履修していない科目があっても大学で一から



博士前期課程
環境創生工学系専攻
化学生物工学コース1年生
堤 知里さん

勉強すれば、授業にもついていけます。私は大学から生物を履修しましたが、お互いに得意科目を助け合う仲間がいて、一緒に勉強して、テスト期間を乗り越えました。

また、生物の授業では、「変異株」や「PCR検査」を取り上げてくれて、最先端の知識が得られて、楽しかったです。生物や化学が好きな人ならぜひ理系という選択肢、そして室工大をおすすめしたいです！



まだ満足のいく結果は出ていませんが、研究するならとことんやりたい

■ キャリア形成のためのランチタイムセミナー 第15回 ■

「一番面白いと思うことで、食べていける人になるために」

講師：吉田 明子 氏（コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社 取締役）

日時：令和4年1月21日（金）12:00～13:00

開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

対象：本学の学部学生・大学院生 他

令和4年1月21日（金）に「キャリア形成のためのランチタイムセミナー 第15回」を開催しました。今回は、「一番面白いと思うことで、食べていける人になるために」と題して、コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社 取締役の吉田 明子氏にご講演いただきました。

これまでのキャリアを振り返り、学生時代の留学先での学びや経験が今の仕事に繋がっているというお話や、心理学で提唱されている「計画的偶発性理論」の観点から、目の前の物事に全力で取り組むことで、次のチャンスをつくり出すことの大切さについてお話いただきました。

当日は51名の参加があり、参加者からは「吉田さんの生き方に大変刺激を受けました。少しでもチャレンジする心を持ち続けるようにしたいと思いました。」などの感想が寄せられ、好評のうちに終了しました。



■ 「次世代育成支援及び女性活躍推進のための事業主行動計画」を策定 ■

本学では、令和3年4月から令和8年3月までの5年間を計画期間として、子育てと仕事の両立が可能となる職場環境の整備と女性教職員の活躍を推進させる取組の実施を目的とし、「次世代育成支援及び女性活躍推進のための事業主行動計画」を策定しました。今後も「女性教職員在職比率」、「年休取得率」等の目標達成を目指すとともに、ダイバーシティ実現に向けた環境整備に努めて参ります。

（1）妊娠中の労働者及び子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立等を支援するための雇用環境の整備

目標1. 職員、特に男性職員の妻出産時等の特別休暇取得及び育児休業制度利用等、出産・育児のための制度活用を促進する。

（制度活用促進の対象となる制度）

- ◎育児休業 ◎特別休暇（子の保育、子の看護） ○特別休暇（産前休暇、産後休暇、配偶者の出産、男性の育児参加）
- ◎育児短時間勤務 ◎育児時間 ◎早出遅出勤務 ◎超過勤務の制限 ◎深夜勤務の制限
- 職務専念義務免除（保健指導又は健康診査を受ける場合、母体又は胎児の健康保持を目的として通勤緩和又は休息、補食を行う場合）
- ◎その他両立支援制度（ライフイベント期の研究者への研究支援員配置、ライフイベント期の学内駐車使用条件の緩和等）

◎：性別によらず取得可能 ○：いずれかの性別のみ取得可能

（2）働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

目標1. 令和8年3月までに年次休暇の取得日数を、付与日数（前年からの繰越日数を除く）の70%以上とする。

目標2. 勤務時間の見直しを行い、帰宅しやすい環境づくりを行う。

（3）女性教職員の活躍を推進させる取組

目標1. 令和8年3月までに教員に占める女性割合を12%以上にする。

【本学HP】 > 【大学案内】 > 【方針・取り組み】 > 【男女共同参画の推進】 > 【次世代育成支援及び女性活躍推進のための事業主行動計画について】

URL：<https://muroran-it.ac.jp/guidance/compliance/genderequality/>

ダイバーシティ通信 第15号（2022年3月）

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 TEL：0143-46-5018 / FAX：0143-46-5032
E-mail：ufr@mmm.muroran-it.ac.jp URL：https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本学の男女共同参画推進を応援して下さる個人・企業からのご寄付を受け付けております。詳しい手続きは下記URLをご覧ください。
https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/kifu.html
ぜひご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

本誌および本学の男女共同参画等についての
ご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers